

タンザニア 1987年と1998年の記憶と記録

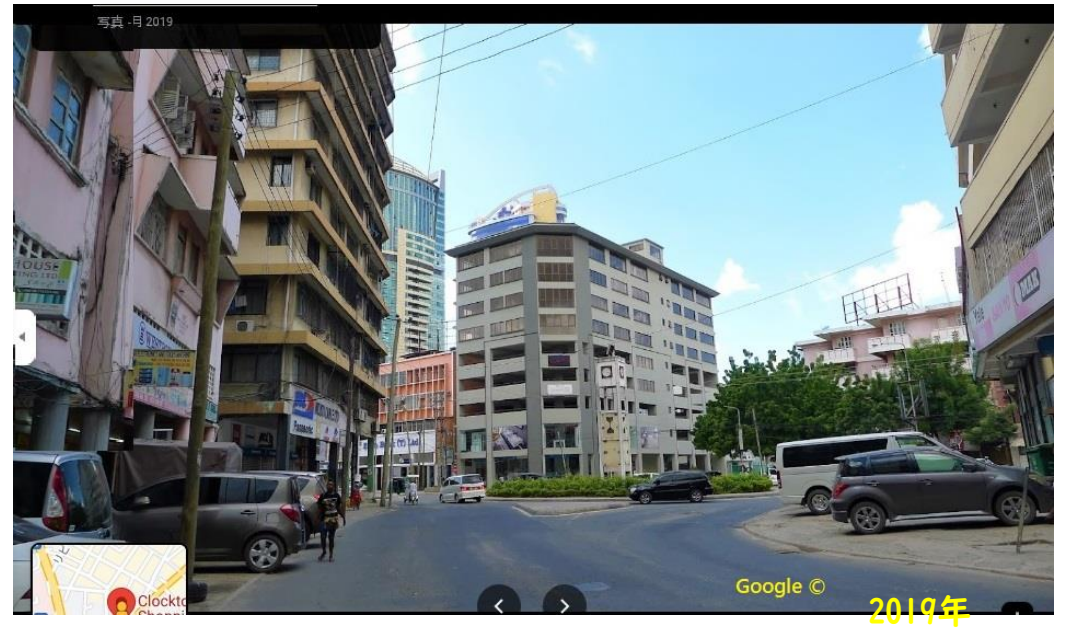
DF環境サロン

2023年7月31日

三浦 陽一

タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

- 1987年： 駐在地のロンドンから円借案件で出張
 - 生まれて初めてのアフリカは強烈な体験
 - 社会主義政策が破綻し、ビルはボロボロ、道は穴だらけ。当時の一人当たりGNIは180ドルと言われており、世界最貧国のひとつ。



タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

- 1987年： 駐在地のロンドンから円借案件で出張



タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

・1987年： 駐在地のロンドンから円借案件で出張

- とにかくモノがない、、、
- 現地駐在員の依頼で、冷凍魚を段ボールに新聞紙詰めして2-3カートン持参し、ヤミ通関
- 入国時にUS\$50を現地通貨（タンザニアシリング）に強制的に変えさせられる。⇒物不足の市内では買うものもほとんどない。駐在員の知恵に従い、何とか使い切ったが、さてその方法は？
- ホテルでも街中でも闇ドル交換の愛のささやき（当時1ドル660シリングだったが、1,000シリングなどのオフアー）



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1987年： 駐在地のロンドンから円借案件で出張
 - ビールは現地生産していたが、紙不足でラベルもなく、なんというビールか判らないまま飲んでいた。
 - 東ドイツ（DDR）がまだ存在していた時代で、大使館の経済担当に話をしに行ったら、美味しい東独製ピルズナー・ビールをご馳走になった。
 - ホテルには表裏2面だけの現地英字紙が毎日配信されていた。
 - 当時はTV放送すらまだなかった。タンザニアでのTV放送開始は1994年で、全世界的に見てもかなり遅い。
 - 旧英領で左側通行だが、この当時はまだ日本車はそれほど見かけず。

タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1987年： 駐在地のロンドンから円借案件で出張
 - タンザニアの後、東アフリカ3国のケニアとウガンダを訪問
 - ケニア
 - 同じ旧英領の国なのに、「豊かさ」が違うと感じた。
 - モノが豊富、レストランのメニューも豊富。日本食レストランさえある。
 - TVがちゃんと放映されており、天気予報を見て感激した。
 - ナイロビの駐在員事務所はインド系・アフリカ系の現地スタッフも活躍。
 - ウガンダ
 - 内戦終了から間もなく、国内はまだ混乱。高層ビルを階段で上り下りしたが銃弾の後が生々しかった。
 - 空港からカンパラ市内に入る途中では少年兵に銃を突き付けられ検問。
 - デノミの発表で銀行には換金する人たちの長蛇の列。レストランでは取引先が厚さ10センチほどの札束で支払っていた。
 - 夜は軍があちこちで検問をしており、これがとても不気味だった。

タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- 11年ぶりのタンザニア再訪で感じたこと
 - 車が増え、その多くが日本の中古車。日本のミニバンは大人気で、幼稚園やホテルの送迎車、救急車が塗色もそのまま都市間のミニバスとして使われている。指宿消防団と板橋消防署を目撃。
 - 闇ドルの売買がなくなった。ドルで支払いをしようとしたが逆に嫌がられた（⇒自国通貨への信頼が増している証拠）
 - 街のあちこちに小さな商店があり、日用品や食品はかなり充実していてオリーブオイルや醤油まで売っていた。以前のモノ不足とは別世界。
 - 内戦などで疲弊したアフリカの国が多い中、タンザニアは政情が安定していた影響が大きいのではと感じた。

タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ： アフリカ最高峰（5,895m）
- 不自然な国境線：

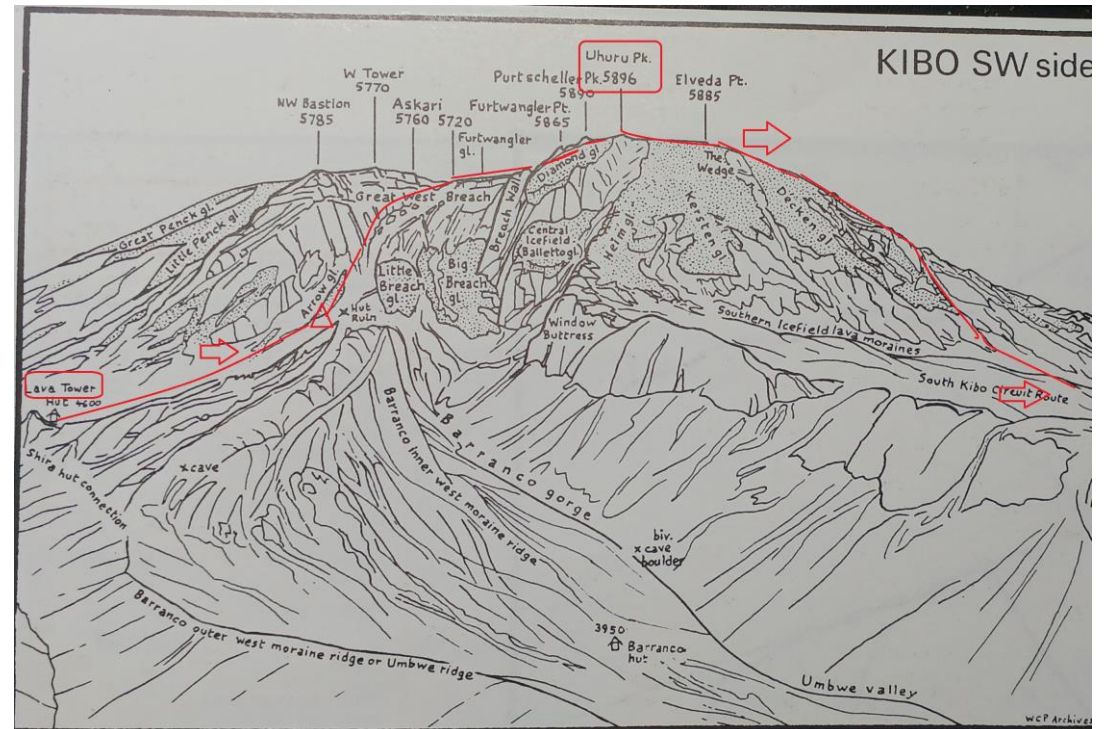
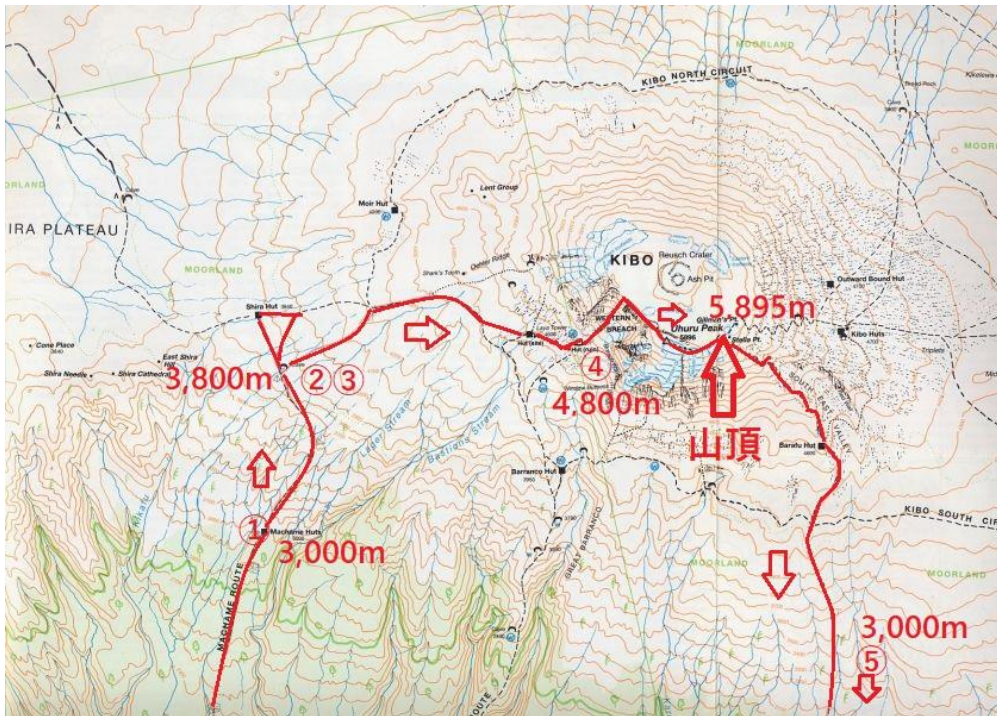
山頂はもともとケニアとの国境線上だったが、1885年のベルリン会議で、英ビクトリア女王から当時のドイツ・ヴィルヘルム1世にキリマンジャロをプレゼントするために国境を曲げた逸話がある。

（当時のタンザニアはドイツ領）



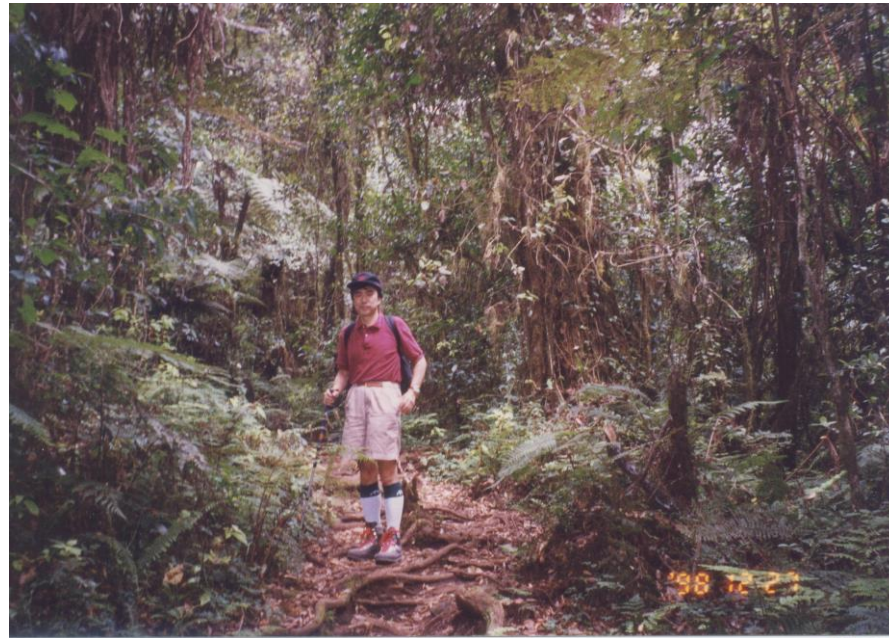
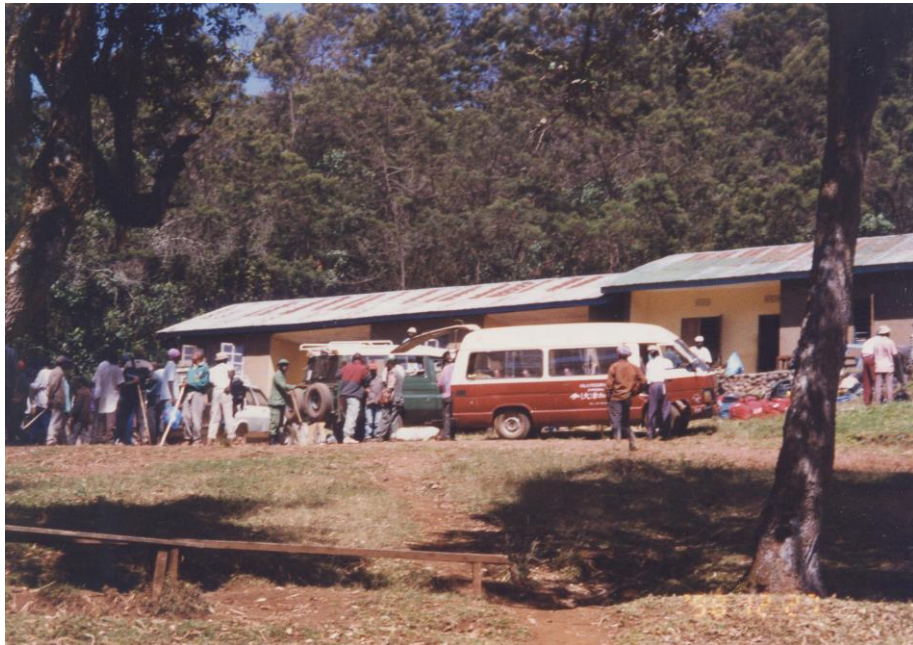
タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 標高1,400mのアルーシャを起点に南西のマチャメ・ルートから登攀。南のムウェカ・ルートを下山（5泊6日）



タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 初日。標高1,800mのマチャメ・ゲートから国立公園に入り、熱帯雨林を標高3,000mの森林限界まで歩く。



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 初日は標高3,000mのマチャメ・サイトでテント泊。森林限界で巨大化したヒースを折ってポーターたちが炊事に使っていた。ここからは最高峰キボ峰がよく見えた。



タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

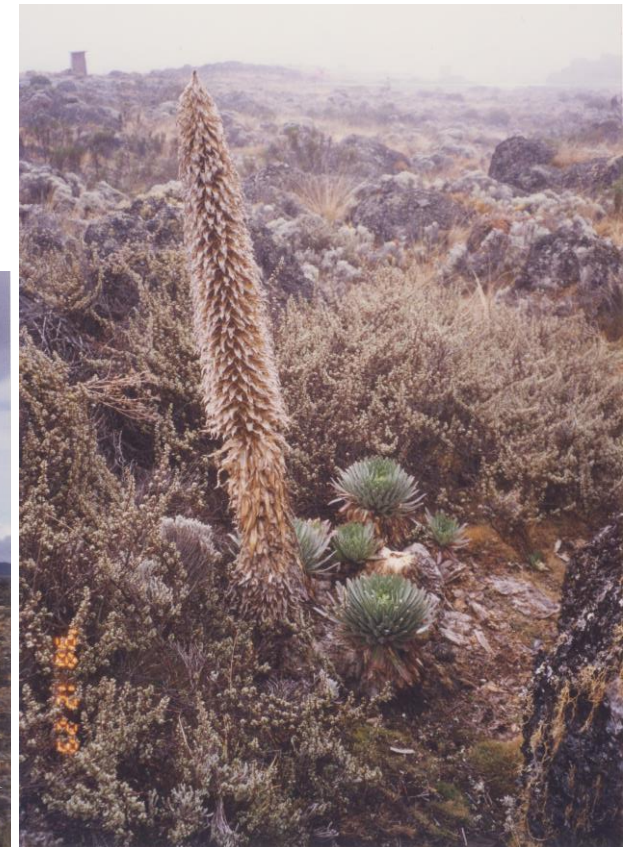
- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 2日目は標高3,000mから富士山頂とほぼ同じ標高3,800mのシラ・ケーブ・サイトまでゆったり歩く。溶岩台地の広々としたサイトで高度馴化のため2泊した。



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 3日目は標高3,800mから4,000mに広がる溶岩台地を散策。この広大な台地に巨大化した高山植物が咲く様子はこの世のものとも思えない光景。



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 4日目はいよいよ標高4,000mを越える未知の世界へ。もう植物も殆ど生えておらず、空気が薄く、一歩歩くたびに深呼吸をしながら標高4,800mの最終キャンプ・アロー氷河へ。



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 5日目は頂上への最終アタック。標高4,800mのキャンプを午前1時に出発。急な岩場を登り、4時間で火口原へ。午前6時30分標高5,895mのウフル・ピークに登頂。



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 標高5,895mのウフル・ピークで先発していた南アフリカ隊と登頂を祝う。



タンザニア： 1987年と1998年の記憶と記録

- 1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征
- キリマンジャロ登山： 標高5,895mのウフル・ピークでの写真を2018年12月に登頂した友人の写真と比べると氷河の後退は明らか。



タンザニア：

1987年と1998年の記憶と記録

・1998年： 駐在地のミラノからキリマンジャロ登山遠征

・キリマンジャロ登山： 5日目は標高3,000mのキャンプ泊の予定がトラブル発生のため、5,895mの山頂から1,800mのムウェカ・ゲートまで12時間かけ標高差4千メートルを一気に下山する羽目に。

氷河から砂漠、疎林帯、熱帯雨林の全てを半日で経験することになった。

